

校内の梅の木が、春の風とともに香る今日の佳き日、常田育友会長様をはじめ、多くの保護者の皆様のご臨席を賜り、兵庫県立尼崎小田高等学校第五十回卒業証書授与式を挙行できますことは、卒業生はもとより、本校にとりましても大きな喜びとするところです。高いところからではございますが、職員を代表いたしまして心からお礼申し上げます。

ただいま、本校の教育課程を修了し、卒業証書を手にした皆さん、ご卒業おめでとうございます。

ここに多くの卒業生の皆さんはすでに成人となられています。進学する人も就職する人も高校を卒業すればある程度自立することが求められます。自分のことは自分で責任を持つということです。本校で学んだことや友人とのつながりを大切にしながら、自分の人生を自分の手で切り拓いていってください。

私は映画が好きなのですが、自分の中でのナンバーワンは「バックトゥザフューチャー」です。高校生の主人公マーティが40歳以上年上の友人であるドクとタイムマシンで過去に行ったり、未来に行ったりするお話です。未来で会社をクビになって、クビだと書かれたファックスを現代に持ち帰った主人公は映画の最後のシーンあたりでドクに尋ねます。「なんで現代に戻ったら白紙になっているの？」ドクは答えます。「Your future is whatever you make it」[未来は白紙だ。誰にとっても未来は自分で切り拓くものだ]

卒業生の皆さんの前には無限の可能性が広がっています。これは年齢には関係ないと思います。これからの人生、自分の力を信じていくつになってもいろいろなことに挑戦し続けて欲しいと心から願います。そして高校卒業というこの節目の日である今日はこれまでの生き方を振り返って、皆さんを温かく支えてくれたご家族に感謝の気持ちを伝えてあげてください。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、心よりお祝い申し上げますとともに、三年間にわたり、本校の教育活動に、ご理解とご協力を賜りましたこと、御礼申し上げます。

今日、本校を卒業する卒業生の未来が光り輝くものとなることを祈念し、式辞といたします。

令和六年二月二十九日

兵庫県立尼崎小田高等学校

校長

伊藤 聖二